

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	StageIV胃癌の集学的治療			
2. 対象患者	当科で2007年1月から2015年12月までの間に胃癌の手術を受けた方のうち、StageIVであった患者さん60例			
3. 対象となる期間	2007年1月1日		～	2015年12月31日
4. 実施診療科等	消化器外科			
5. 研究責任者	氏名	吉田枝里	所属	消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	近年化学療法の進歩により切除不能胃癌も手術可能となる症例が増加しています。しかしながらその治療戦略は適応、術前術後化学療法、術式を含め定まっておらず、治療成績の向上のためには至適時期や治療方法を検討する必要があります。			
8. 研究の目的	2007年から2015年までの当科で胃癌の手術を受けた方のうち、StageIVであった患者さんに対し術前治療、術式、術後治療を検討し今後の治療戦略を明らかにすることを目的とします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録を利用し、病歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、各種検査所見、画像所見、手術所見、術式、合併症などの手術関連情報、術後経過、予後などの情報を利用します。			
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出をされた方については、対象から除外します。ただし、その時点で研究成果が既に学会等で公表されている場合、公表済の結果を修正することはできません。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科 吉田枝里			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080